

### 熊本地震での教訓を活かした市の防災計画を

新井光男 議員

**問** 高齢者や障がい者など社会的な弱者への支援強化、女性の視点での計画の見直しをすべきでは。

**答** 名簿に登録された8258人の避難行動要支援者は、地域包括

支援センター等に情報提供されており、迅速に避難できる体制づくりに取り組んでいる。今後も女性の視点を取り入れた防災計画の見直しを進める。

### 小・中学校教職員の多忙解消

### 手話条例の制定を

**問** 長時間過密労働の実態、部活動のあり方の改善を。

**答** 中学校教員は、月約60時間の時間外勤務をしている。部活動に外部指導者の積極的活用、顧問を2人体制にして休養の確保に努めるなど教職員の負担軽減を各校に指導する。

**問** 対象者や団体との協議、社会的環境の整備を。

**答** 条例制定に向け昨年より当事者団体との協議を進めている。地域自立支援協議会からも意見を伺っている。手話を使う市民が安心して日常生活を送ることができるよう環境を整えていく。

### 災害に備えて

加藤恵一 議員

**問** 自主防災組織におけるスタンドパイプ式初期消火器具の導入状況は。

**答** 現在9つの自主防災組織に導入済み。また、自主防災組織への補助制度もあるため積極的な導入を推進していく。

**答** これまでも懸垂幕、横断幕、のぼり旗等の啓発物資に「ふじみん」を取り入れたデザインを使用してきた。より効果的な啓発活動ができるように、街頭啓発活動の際に「ふじみん」にも参加を依頼する予定である。

### 企業誘致に伴い減少していく農地への対応は

有山 茂 議員

**問** 企業誘致により市街化調整区域内の農地が減少する中で、今後



の農業への対応は。  
**答** 開発行為により調整区域内の農地が減少するため、対策を講じる必要がある。営農意欲が高い地域は、各種補助金を活用し、引き続き農業経営の支援をしていきたい。  
**経営内容は**  
**下水道事業の**  
**経営内容は**  
**下水道事業の経営**

状況は。  
**答** 損益計算上では、今年度約6900万円の利益が発生し、経営は概ね良好である。  
**問** 今後の事業展開は。  
**答** 施設更新のため事業費用が増加する。市民に欠かせないインフラであるため、長期的な計画を策定し事業を実施する。  
**三芳スマートICフル化の安全対策**  
**問** 県、関係市町との安全対策等に関するこれまでの検討状況は。

**答** 昨年12月と、今年3月に会議を実施し、対策の必要な箇所を抽出し事故発生要因を分析・協議調整している。  
**問** 交通量の変化が予想されるが、市の調査・検討状況は。  
**答** 交通動向の変化などを分析し、道路整備や安全対策の方向性を検討している。  
**問** 大井中学校前の市道の安全対策は。  
**答** 開通後の交通状況を踏まえ整備を検討する。

**本市における空き家対策**  
**問** 空き家情報の自治組織や民間団体との共有体制は。  
**答** 自治組織との協働は重要であり、情報提供など協力して行っている。今後は、宅建業者などと連携して空き家バンク創設に向けて検討をすすめていく。  
**18歳選挙権更なる投票率向上に向け**  
**問** ふじみ野市PR大使を活用した投票周知PRを。



スタンドパイプ式初期消火器具

### 身近な場所に親子の居場所を

民部佳代 議員

**問** 放課後児童クラブで午前中に行う乳幼児向けの子育てサロン。さぎの森小学校での実施は。

**答** ニーズを把握し研究する。  
**問** 東台小学校の子育てサロンは地理的に利用しづらい人もいる。東原小学校でできないか。



**ふるさと納税で市を応援**  
**問** 地域猫サポーター

や新春ロードレース大会など、応援したいという思いを尊重して寄付を集めるべき。市民から寄付を募ってもいい。財政への影響は。  
**答** 例えば夫の年収が500万円、専業主婦と子ども1人の場合、市外に3万円寄付をすれば、市は4千円の歳入減。一方、市に寄付してもらえば返礼品の金額を考慮すると約1万4千円の歳入増となる。  
**問** 寄付は安定財源ではない。有効に活用するには、基金の創設が

必要では。  
**答** 将来的に検討していく。  
**子どもの貧困を生むDVへの対応**  
**問** DVは子どもの貧困の原因の一つ。避難で別居すれば、ひとり親支援の対象になるか。  
**答** 裁判所の保護命令を受けるなど、要件を満たせば対象となる。  
**問** 被害者は相談自体、勇気が必要なこと。職員の対応は。  
**答** 全庁的に研修などを実施していく。

### 災害に強い水道インフラの整備

床井紀範 議員

**問** 今後の水道インフラの整備計画は。  
**答** 老朽化した石綿管を、耐震性のある铸铁管やポリエチレン管等に布設替えを行う。浄水場の配水池の耐震化も進めている。

**イオンタウンの開発**  
**問** 開発計画や周辺地域へ配慮すべき点は。  
**答** 開発行為等事前協議申請書が提出された後、協議する。電波障

害や交通安全対策も配慮すべきと考える。  
**問** 開発による波及効果や商業・産業振興は。  
**答** 地元雇用の促進や商店会等と連携、商工会への加入等を要望する。増収が期待できる。  
**上福岡駅踏切周辺の雨水対策**  
**問** 大熊医院横の横断歩道周辺の雨水対策を。  
**答** 川越県土整備事務所に要請した。

### さらなる循環型社会の推進を

堀口修一 議員

**問** 待望の新環境センターが稼働となる。さらなる循環型社会への取り組みを加速させていく良い機会として活用していくべき。併設される啓発施設をどのように活用していくの

か。  
**答** 環境センターの活用を通して環境学習を深めることは重要。今後は、小学校高学年や中学校においても啓発施設を活用し、楽しく体験的に学習できる機



新環境センター

会を設けるよう検討する。

### さらなる保育の充実を

**問** 一番大事なのは、子どもの成長・子どもの安全をあくまで中心に考えていくこと。その思いが結集されていくことにより、課題は課題として一つ一つ克服していくものと思う。その認識と具体的な対応は。

**答** 子どもが安心して保育所で過ごすためには、保育士が一人ひとりの子どものことを知り、日々の成長の様子や変化に気づいてあげることが大切。保育園と家庭とのコミュニケーションが円滑に図れるよう、あらゆる支援を継続していく。

### 葦原中学校周辺の交通安全対策

**問** 葦原中学校東側の道路の歩道整備事業の進捗状況は。  
**答** 設計が終わり、契約に向け事務作業を進めている。  
**問** 安全対策は。  
**答** 夏休み期間に合わせるように調整し、水道管の布設替え工事を行うが、安全に配慮して夜間工事を行う。